

# 首都直下地震対策の検討状況について

資料 1-2

## 首都直下地震モデル検討会

### ○趣旨

首都直下の地震像について、相模トラフ沿いで発生する最大クラスの巨大地震も含めて、科学的・技術的検討を行い、震度分布・津波高等を推計し、ワーキンググループに報告する。

### ○構成

理学・工学等の研究者から構成(座長:阿部勝征 東京大学名誉教授)

### ○検討状況

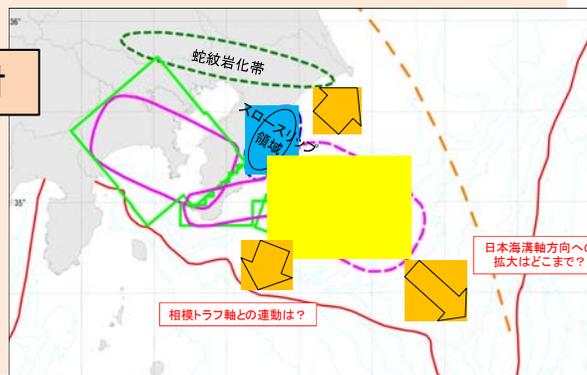
平成24年5月11日 第1回開催  
平成25年3月19日まで、17回開催

#### 主な検討事項

- ・相模トラフ沿いで発生する最大クラスの巨大地震の震源断層域、津波断層モデル等の検討
- ・首都直下地震、相模トラフ沿いで発生する巨大地震による震度分布・津波高等の推計

### 震源断層域の検討

従前の想定対象首都直下地震18タイプに加え、相模トラフ沿いの最大クラスの巨大地震を検討



## 首都直下地震対策検討ワーキンググループ

### ○趣旨

最新の科学的知見に基づいて相模トラフで発生する規模の大きな地震も対象地震として、東日本大震災の教訓を踏まえた、首都直下地震対策について検討

### ○構成

理学、工学、社会科学等の専門家の他、経済界、地域防災の担い手、自治体の長など、幅広い有識者にて構成(主査:増田寛也(株)野村総合研究所顧問)

### ○検討状況

平成24年4月25日 第1回開催  
平成24年7月19日 中間報告

- ・当面取り組むべき対策(政府の業務継続、避難者、帰宅困難者等への対策)等を取りまとめ

平成25年3月13日まで11回開催

- ・首都中枢機能確保対策、帰宅困難者対策、災害応急対策、企業防災力、地域防災力の向上等について検討

### ○今後の予定

首都直下地震モデル検討会における震度分布・津波高の検討を受けて、被害想定を行い、首都直下地震対策の見直しを行う。